

高梁学園と国際貢献大学校

人材育成で連携協定



協定調印後に握手する（左から）石井知事、加計理事長・総長、的野理事長、菅波茂AMD A代表

高梁学園（高梁市伊賀町）と公設国際貢献大学校（新見市哲多町田淵）は11日、岡山市奉還町2の岡山国際交流センターで、国際援助分野の人材育成を目指す連携協力協定を結んだ。

同学園の加計美也子理事長・総長と同大学校運営機構的野秀利理事長が協定書に調印した。同学園が運営する吉備国際大大学院は今春、国際協力研究科を開設しており、同大学校と互いに出張講義や研修などを開く予定。的野理事長が代表代行を務める国際医療援助団体「AMD A」（本部・岡山市櫛津）の活動を学生らに体験してもら

うことも計画している。調印後、加計理事長・総長は「国際社会で活躍できる人材を育てたい」と話し、的野理事長は「イラク支援物資のこん包などで既に連携しているが、更に協力関係を発展させたい」と述べた。立会人の石井正弘知事は「岡山発の国際貢献を力強く世界に発信してほしい」と祝福した。

【四谷寛】